

ウィズ (共に)

With

くまもと障害者労働センター &
あきた共同作業所 通信

1995年7月号

〒862

熊本県熊本市保田窪本町5-29

TEL・FAX共通

096-382-0861

熊福連の総会に参加して

6月21日に熊本市の希望荘で熊福連の総会が開かれ、労働センター代表の倉田さんはその場で熊福連副会長に選ばれた。前年度の事業報告や今年度の事業計画があったり、入院先からかけつけた倉田さんがハートフルムービーの呼びかけをする場面もあった。県や市の福祉課からも参加されたので、島田さんの文章にもあるような、療育センターB型について、質問が相次いだ。この指定を受けると、補助金が600万に増えるのは魅力であるが、作業所内でも整備しなければならない課題も多く、何よりも地域療育推進事業として市町村の事業という位置づけであるので、制約も多いということであった。



小規模作業所とは

熊本県障害者福祉作業所連絡協議会 会長 島田 幸子

作業所の魅力とは何でしょうか。各地に誕生した小規模作業所。重い障害を持っていても、地域の中で共に、友達と一緒に生きていきたいとの願いから必然的に生まれた作業所。障害を持った人たちの福祉就労の場。そして生活の場として今も増え続けております。ここ熊本でも「まだまだ各地で作業所を作りたい」と言う声が聞こえてきます。

作業所の魅力は柔軟性にあると言われます。障害児を持った親たち、障害を持った人たちが、自分の願いと思いを込めて運営がなされている結果だと思います。障害の重さ、障害の多様化、それら全部を飲み込んで、自由に柔軟に対応されているのが魅力の一つだと言われています。

しかし財政面を考えたとき大変厳しいものがあり、その魅力ある作業所を続けていくために力を合わせて頑張りましょうと言うことで、熊福連が発足されたと思います。そして今年は5周年を迎えます。これまでの熊福連の歩みの中で、私たちは補助金の増額と作業所の確かな位置づけを柱に、作業所間の連携を深め、研修を重ね、作業所の地位向上を願って運動を進めてまいりました。

運動を続けてきた中で、熊本県は療育センターB型を発表されました。昨年3カ所の作業所が移行されましたことは、皆さんご承知の通りであります。この制度が私たちの目指す作業所の確かな位置づけとなるのかわかりませんが、今年の大きな課題だと思いますが、療育センターB型はそれぞれの市町村の事情が関わってきますので、難しい問題ととらえています。

一方で明るい話題として、ライン工房さんが、法人施設として、7月1日からスタートされます。心からおめでとうございますと申し上げます。これで熊福連から2ヶ所の施設が独立していかれましたが、会員一同大変喜んでおります。西嶋さんの頑張りには日頃から敬意を表してまいりましたが、本当に凄いと思います。これから運営されます施設が、作業所のよさを残した、西嶋さんの理想とされる施設作りに期待しております。

さて、平成7年度は5周年という事でアンケートも取りたいと考えております。その他の事業についても、ご相談させて頂いて、熊福連の運動を充実させていきたいと願っております。会員の皆様のご協力を心からお願い申し上げまして、ご挨拶といたします。

大人も子供も、
車椅子の人もどなたでも、
どうぞお楽しみください。

7月21日(金)

市総合女性センター 大ホール ☎096-345-2550

協力チケット ¥1,000 で大人1人又は小学生以下2人が、1日中

入場できます。＜出入り自由＞

★送迎が必要な方は、ご相談ください。

★お申し込み・お問い合わせは、労働センター ☎096-382-0861まで

くまもと障害者労働センター
10周年記念行事
第3回

ハートフル
ムービー



再生紙の日キャンペーンに行っでの感想

6月24日土曜日のお昼1時30分から午後の3時30分まで、城南町の台信商店で、再生紙の日キャンペーンがありました。労働センターからは、私と野口さんが台信商店に行きました。本当は、リフトバスで行くはずだったけれどヒューマンネットワークの方がリフトを予約されていたので、田中商店の田中利和さんの車を頼んで行きました。

それから台信商店に着いて、まだ時間があったのでゲームセンターでワニニパックのゲームをしました。1時30分になったのら、再生紙の日キャンペーンの仕事をしました。お客さんたちにアンケートを書いてもらったり、私の方からお客さんたちにアンケートを読んであげたりしました。

最後になりましたが、田中商店の田中さん、有機の会の出田さん、益田、渡辺先生、あきた作業所の下山さん、再生紙の日はお疲れ様でした。

市瀬 恵



おてもやんだより

松田美知子

雨の多くなる季節を迎え、憂鬱で退屈な日を少しでも過ごしやすくするために、「黄色いサクランボ」のCDを買った。もちろんCDは触ったのも、見たのも初めてである。その針もつけずに音が出る摩訶不思議のカラクリに、いったいどうなっているのか少し不安を覚えた。しかし、それは、どうやら取り越し苦労に過ぎなかったようで、テープよりいいと薦められただけの事はある。レコードの時は針で盤をさんざん傷つけ、折角のメロディを駄目にした苦い経験からしても、簡単で手間が省けていい。今は毎日かけて楽しんでいる。

「黄色いサクランボ」は私が10代のときに流行した曲だが、この曲にあやかったマンガをこの通信に連載していた。コントを考えていると、ごく自然に口ずさみたくなり、歌っていると4コマ漫画ができあがっていた。これらの漫画は私としては結構、楽しんで作っていたのだが、方針を変えて「CPのみっちゃん」シリーズとして再開したいと思う。みっちゃんはCP（脳性麻痺）で18才の元気な女の子。おしゃれも好きだけど、きまらない。料理もできるけど、不器用。電話に應對しても、相手には通じない。掃除をしたら、りきんでガラスにひびを入れてしまう。でもみっちゃんはとてもたくましく生きている。そんなみっちゃんを書いていきたいと思っている。

「黄色いサクランボ」ですっかり10代の私に帰ってしまい、次から次に思い出がわき出してくる。しばらく私の青春時代の話にお付き合い願いたい。

さて、レコード盤を傷つけて叱られても、懲りもせずに、お小遣いを貯めてはレコード店に走っていった。金がないときはソノシート（ビ



ニールシートの薄っぺらなレコード）で我慢して聞いた。そのためか、当時の全米のヒットランキングも映画音楽も少しはわかるつもりだ。

しかし世の中には上には上があるもので、NHKの「#さんりさん」という番組があって、何人かの解答者が、流される音楽を聞いて題名を当てるという単純なクイズ番組であったが、いつも兜を脱いでいた。というのもクラシックからポピュラー、ロックの分野に分かれていて、得意とする分野を選び、出題されるが、そのレパートリーの広さや、音感の鋭さがみもので、いつもはらはらさせられ、5人抜いたチャンピオンなどすごいと思っていた。ほとんど、メロディが流れると同時にボタンが押され題名を当てる人が多かった。つくづく自分が凡人であることを感じさせられた。

それはさておき、レコードを買う金がないときは、安いソノシートを買った。これがなかなかの代物で、レコードでは楽しめないグラビア付きの解説で、本を読む気軽さで受けていた。たしかに音楽的には問題があったがかもしれないが、ヒットランキングの詳しい情報が載せてあり、レコードを何枚か買った喜びがあった。そして英語が苦手な私でも「セーラーボーイ」などデュエットで歌えホームパーティに打って付けだと好評だった。「私の名前が全米でヒットしている」と妹がはしゃいだテルミー。これを機会に英語に親しみを感じたのか、勉強に身が入りだした。勉強なんて、こういった一寸したきっかけで励むようになるのかもしれない。

いろんな歌手のなかでも「アイドルを探せ」の曲で知られるシルビーバルタンのファンだった。彼女は名家育ちのフランスギャルとよく比較されていたが、島育ちでフランス語も苦手だったそうである。そのためか少女時代は家に閉じこもりがちで、友人もいなかったそうだ。私も言語障害で友人もできず、又、共稼ぎの親から、家事をまかせられていたため、家に閉じこもって本を読みあさっていた。だからこそ、一躍アイドルになり、脚光を浴びる彼女にひそかに憧れていた。

外の雨はますます降りしきっている。その雨音を聞いていると、ふっと自分をみつめてしまう。私はよく落ち込むことがあり、この文章も書けないくらいに疲れていたり、悩んでいることもあるのだが、そんなとき電話をかけ気晴らししたり、包み隠さず相談にのってもらう事にしている。また労働センターの皆さんと親しくさせてもらい、記事を書かせてもらうようになってから、頑な自分がほぐれたようにも思う。いつネタが切れるかと、ひやひやしているのであるが、一皮むけた自己を表現できないかと毎回悩みながら書いている。どうか今後とも私のつぶやきにお付き合い願いたい。

ぶらっときたよ

今月は「自然の里」です

1. はじめに

障害を持つ人の間で、ボランティアをしてくれる人がなかなか集まらないという悩みは、よく聞かれるところであるが、なぜなのであろうか。「介護者募集」イベントのお手伝い募集」とか、各地から送られてくる小規模作業所や自立センターの通信には、とにかくボランティア募集の呼びかけが目立つ。かく言う我が労働センターでも、「ハートフルムービー」においては猫の手も借りたいくらいお手伝いが欲しいのである。そのへんをよろしく。

ボランティアという言葉には、一方的な「してやる人」「してもらう人」の関係のなかで、自分を犠牲にして「苦役」をするというイメージがある。ボランティアと奉仕（サービス）とは違うのであるが、世間一般のイメージではそんなところではないだろうか。ヒューマン・ネットワークの有料介護補償というアイデアは、このことに対する一つの回答である。「日常の介助において有料でボランティアしてもらうことで、お互いの関係は対等になる」という考えで、すでに実働に移っている。後日、ヒューマンの取り組みもこの欄で取り上げてみたい。

別の角度から回答を出したのが、ここ「自然の里」である。新聞にも、たびたび取り上げられているそうであるが、今回は宇土半島まで尋ねてみた。

2. 「自然の里」とは？

5年前に馬の牧場を買い取ってオープンしたそうである。宇土半島のど真ん中の山中にあり、眼下には不知火海が広がり、夜には対岸の八代の夜景がまばたく風光明媚な所である。8ページの地図をご覧になればおわかりと思うが、広大な敷地に木工棟や、「さおり」という小型の機織りの棟、陶芸などの棟、宿舍、事務所、それに個人の別荘が点在する。

初めて来た人は、びっくりして案内者を質問責めにするであろう。例えば「ここは別荘地ですか？」「精神遅滞児のための小規模作業所ですか？」「大人の趣味のサロンですか？」「いったい建設費用はどうやって捻出したのですか？」等々、次々に疑問の沸いてくる所である。パンフレットには右枠のように書いてある。

○子供だけではなく親が共に通い、住める里にしたい。

精神遅滞者の親が、いつまでも気に懸かるのが障害を持った子供のことである。その親が、子供と一緒に土や草木に親しみ、他の家族やボランティアと交わるために、家から通い、あるいは一時宿泊できるような共同の宿泊所と、作業所を作りたい。また、定年退職した親が子供と一緒に生活するための家を建てることのできる敷地を用意したい。

3. 事務局の金子さんに聞く

金子さんは昭和54年の養護学校義務化の準備のために教育庁に勤務されたそうであるが、そこでは精神遅滞児の親さんから卒業後の進路についてたびたび相談を受け、本当にこの子たちのためになるものを作ろうと、退職後、親さんたちや賛同する人たちとともに全国を見てまわり、夜遅くまで何度も話し合い、アイデアをねり、金を出し合っ作ったのがここなのだそうだ。

（特色1）現在、会員の人たちの別荘が10棟ほど建っている。

開墾は会員の手作業で行われただけでなく、旧馬小屋の改造、別荘の建築など、ほとんどの建物の内装、外装は、小学校などの改築時に木材を譲り受けたりして、会員の手作業で作られて、おどろくほど建設費が安く上がっているのだそうだ。

（特色2）日曜日には会員はここで思い思いの趣味をすることができる。畑があり、蜜柑山があり、陶芸の窯、木工室、織物のさおりなど、物作りをするありとあらゆる物がそろっている。ただし、会員の家族が連れてきた障害者にも教えたり、一緒に行くということを原則としている。

（特色3）この場所は一般にも開放されている。

100人くらい宿泊することができ、障害児のキャンプなども行われている。ただし、使用料はいる。

金子さん自身、ここに、囲炉裏付きの別荘を建て、竹細工をやり、近くの漁港には自分の船を係留している。「楽しみながらやるボランティアだから、障害者に対して恩きせがましいところなんてありません。会員の皆さんも、自分が楽しみ、障害者に教える楽しみを味わっています。」と金子さんは言われる。

豊かな生活と人生を楽しむ姿勢が伝わってくる。そこにさりげなく障害者もいるという感じである。ぶらっと行ったつもりであるが、会員の人たちがとてもうらやましく思える。

○精神遅滞者の親子だけでなく、福祉に関心がある者が共に通い、住める里にしたい。

いつまでも純真な精神遅滞者と係わることによって心が浄われ、大切な事を教えられる気持ちになる。勤労者や学生たちが勤務や勉学のかたわら、休暇を利用して労働奉仕や実習ができる宿泊施設を作りたい。また退職者が第二の生き甲斐の場として、共に敷地を広げ、作物を収穫したり、動物を飼育するために通い、住める里にしたい。

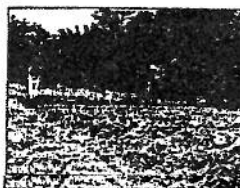
○与えられる施設ではなく、自分たちで作る施設、参加する福祉の場にしたい。

以上の主旨に賛同する者たちが自分たちで資金を出し合い、労働を提供することによって自発的に参加・設置・運営に携わることができる里を作りたい。そのためにも同人方式をとり、会費を納入することによって資金に当てる。

自然の里

ふれあい農場

会員が自家用の野菜を栽培する



季節の野菜が自然の里の食卓をかざります。

ふれあい牧場

羊～羊毛加工
山羊～採乳
地どり～採卵
(子供たちのやさしい心情を育てる)

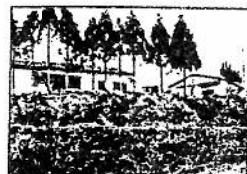


周辺には名産のみかん畑が広がる。



ふれあい広場

- (1)精神障害者高齢者施設「自然の里」(20名)
- (3)管理棟(事務室・ボランティア・学生等の宿泊室・その他)
- (4)集会棟(集会及び生活訓練)
- (5)いこい棟(地域の人々との交流の場)



集会棟(左)といこい棟(右)

作業棟

- (1)陶芸室
専門家による陶器生産
- (2)木工・竹工室
豊富な竹材利用・間伐材の利用

会員住宅

会員がそれぞれ住宅を建て、障害児とカカわりながら思いの人生を過ごす場所とする。
余生を楽しむ、障害者を持つ家族が共に生活する。
有難者は別荘として利用する。

シリーズ18

アルコール依存症を知る

■不安が生じたときの対処の仕方

不安は、欲求はあるがそれがかなえられていないときに起こる。だから不安が生じたときには、まず第一にその裏にどんな欲求があるかを考える。次にその欲求は達成可能であるかどうかを正しく判断する。この判断にはかなりの「知恵」を要する。達成可能だと判断したときには、不安はあるがま

まにしておいて、目標達成のために、前向きの建設的な努力をする。ここで大切な事は、不安を目のかたきにしてそれを軽くしようとか、無くそうとかしないことである。欲求を達成する事が不可能と判断したときには、その程度を下げたり、あきらめたりするしかない。

この公式を用いて退院前の不安について考えてみよう。退院が近くなってくると、心配で落ち着かなくなる人は多い。また飲んでしまったらどうしようとか、短期間で再入院してしまうようなことがあれば、皆に合わず顔がないとか、あれこれと考えてしまう。この場合、その裏にある欲求は何かと言えば、「断酒を継続して健康な生活がしたい」と言う事である。つまり、退院前に不安になる人は非常に真面目な人なのである。さて、この欲求は達成可能であろうか。断酒会やAAなどに行けば多くのやめている人があり、その気になればできない事ではない。可能であるとすれば、その達成のために努力する。例会やミーティングに毎日出席する。シアナマイドを欠かさず飲む。退院したら外来に定期的に通うなどのことを実行していけば良いのである。

飲み過ぎて問題を起こしたらどうしようかと言う不安についてはどうであろうか。この背後には、「問題を起こさないで飲酒したい」と言う欲求がある。アルコール依存症者であれば、これは実現不可能で、きっぱりとあきらめるしかない。

■行動と欲求

社会生活の中で新しい欲求が育ってくることも多い。断酒会の人の中には、現在酒害で苦しんでいる人のために、献身的に活動している人も多いが、自分がこの病気で苦しんでいるときには、そんな考えは少しもなかったのである。断酒生活の中から、そういう欲求が生じてきたと言える。

欲求の中には、このように何かの行動を続けていくうちに生まれてくるものがある。だから、物事を始める場合には、やる気があるかないかはあまり重視しない方がよい。それよりもそれをする事が自分にとって必要であるかどうかで、やるかやらないかを決定した方がよい。やっていくうちに興味も湧いてきて、新たなやる気も出てくるものである。

断酒会やぶふに行くと言う事はアルコール依存症の治療にとって必要な事である。だから行く気があるなしに関係なく出席した方がよい。出席を続けているうちに、来て良かった、どんどん出席したいと言う気持ちが後から生じてくる。

■欲求と環境

欲求は感情と同様、体の状態や環境からの影響を強くける。腹が減れば食欲が湧く。尿が溜まればトイレに行きたくなる。デパートを歩くと物が欲しくなる。飲酒欲求もこれと同じである。すでに述べたが、空腹、口渇、怒り、飲み屋や自動販売機、宴会、飲み友達とのつきあいなどは飲酒欲求をかきたてる。

何かをやろうとするときには同じ目的を持った者同士が集まると、お互いに刺激しあって効果が上がる。自分よりも進んでいる人を見て、早くあんな風になりたいと思ったり、前向きに努力している人の姿に接して、勇気づけられる事もある。ある欲求を実現しようと思えば、それが強まるような場所に行けばよい。断酒継続もまた、同じことである。

逆に、ある欲求が起こっては困るときには、それを起こすような刺激のあるところには行かないことである。

次号へ続く。

熊本シネマランド④

編集協力・キネコム

(熊本に映画博物館を創ろう会)

「花より男子」



いま、若いひとたちに圧倒的人気のtrfが特別出演。主題歌も小室哲哉プロデュースの有紀ちゃんの新曲。内田有紀ファンや「マーガレット」なんか読んでる女の子だったら絶対見のがせないヨー！

「キャスパー」



二年前の夏、「ジュラシックパーク」の大ヒットを放ったスピルバーグ監督がこの夏心暖まるファンタジーを贈ります。さあコンピューター・グラフィックスで心優しい“ゴースト”キャスパーに会いにゆきましょう。

「ポカホンタス」

顔を合わせた瞬間にお互いに惹かれあう“運命の恋人”。しかし、どんな困難も、文化の違いも二人の魂を引き離すことはできない。二人は新大陸征服の野望をもつ白人と先住民の娘。ディズニーが贈る最高の愛のドラマです。



「アポロ13」

'70年4月NASAの打ち上げたアポロ13号は、月まであと一歩というところで爆発事故に遭遇する。酸素や動力の減少。最悪の場合三人の宇宙飛行士は、太陽系の軌道を永遠に回る運命に！絶望的な状況の中、地球へ戻るための必死の作業が始まった。宇宙船の中と



NASAの指令センターで交わされる緊迫したやりとり。実話にもとづく最高のサスペンスと、奇跡がもたらすすばらしい感動を味わって下さい。

「ロブ・ロイ」

スコットランドの英雄ロブ・ロイ。18世紀のスコットランドで、彼は無名の平凡な男でしかなかった。しかし、圧政者が彼の家族を、一族を傷つけ屈辱を与えたとき、全てをなげけし命をかけて戦いを挑んでゆく。「シンドラーのリスト」のリーアム・ニーソンがロマンに生きた伝説の男を演じてカッコイイ!!。雄大な自然をとらえたカメラワークも実に美しい。





「耳をすませば」

「となりのトトロ」の日本アニメ界の雄・宮崎駿氏のプロデュース作品。今回は、少年少女の夢多き青春を描く。先日、キャンペーンに来朝した宮崎氏と近藤喜文監督、満員の若いファンに未来を見つめて、今日を正直に生きることが提唱していた。又、恋のキュービット役のブタネコのムーン、キャンペーンでは中年男がスイグルミに入り、カワイグ?ギコチナイ身ぶりて失笑を買っていた。中年の叔父さん達は、青春の「あの夏の日」に戻って観るもよし、娘たちの「今」を実感されるのもよし。声の出演にも、立花隆・室井滋・小林桂樹氏たち中年組が、がんばっている。

Let's go to the MoVies! 7月中旬～8月中旬

★毎月1日は、映画ファン感謝デー・劇場により、毎週金曜日のサービスデーあり

熊本東映	356-7393	きけ、わだつみの声 7/15～夜1回のみ	ドラゴンボールZ 7/15～	花より男子 8/19
東宝プラザ	352-0952	ダイ・ハード3(ブルース・ウィルス) 上映中		
オリオン座	352-0953	耳をすませば / ON YOUR MARK(宮崎駿監督短編) 7/15～		
東宝1	352-1718	学校の怪談 上映中		
東宝2	352-1718	ロブ・ロイ～ロマンに生きた男(ジェシカ・ラング) 8/4		
セントラル劇場	353-4050	バットマン・フォーエヴァー～7/28	キャスパー(クリスティーナ・リッチ) 7/29	
松竹セントラル	356-3100	アポロ13(トム・ハンクス/ケビン・ベーコン・エド・ハリス) 7/22		
シネラックス1	352-3592	ボカボントス(声・メル・ギブソン) 7/22		
シネラックス2	356-7904	トイレの花子さん(豊川悦司) 7/22	EAST MEETS WEST 8/12	

一期一会

たった一日だけの上映会

- 第8回 たわらやま映画祭
夏恒例の野外映画! 駐車場あり、夕涼みに最高!
・きもだめしの晩
・おばけ煙突のうた
・どすこい! わんぱく土俵
7/26 PM7:45～ 西原村商工会青年部
- 「ラヴ・レター」 第5回電気館名画の夕べ
8/7 ①.PM5:30 ②.PM7:40
産文ホール
- 戦後50年記念企画
「日本のいちばん長い日」 8/15 ①.PM2:20 ②.PM6:30
産文(3F)
主催:キネコム
- 「夏の庭」 8/2 PM7:00
産文(6F)
くまもとシネマ倶楽部

見の好きな映画

「告発」

法の名の下に暗黒の地下牢で虐待の限りの1000日。極限下で人間の尊厳を守るぎりぎりの闘いを支えたのは、たった一つの友情とベースボールだった…。近頃、ケビン・ベーコンから目が離せない! 次は「アポロ13」だ!

(健軍・ムー)

● ファンなら
映画博物館が夢

● きけ、わだつみの声
さそう無念で
あつたろう

● ダイ・ハード3
スリル アクション
また スリル

京小町

● 映画肥後其句
③

6月の日報から

- 4日チケット作り
- 6日ハーフムービー営業まわり
- 13日豊野村販売(野口、池田、久島、福永)
- 24日ダイノブ商店販売(市瀬、野口)
- 28日チケットのリボン付け
- 29日在庫調べ

編集後記

今年も早いもので、梅雨の季節となりました。皆様には、いかがお暮らしてでしょうか。 うっとうしい季節柄、呉れれもご自愛下さいますよう心よりお祈り申し上げます。

さて、くまもと障害者労働センター10周年記念行事、『第3回ハートフル・ムービー』も7月21日と迫って参りました。今年は例年より映画の本数を減らして記念講演・リサイクルオークション・手話ダンス・等々企画も盛沢山用意しています。また、リサイクルオークションでの売上金の半分を阪神大震災で被害にあわれた作業所の人達に見舞金として送りたいと考えていますので、皆さんのご協力をお願いします。

是非、7月21日は黒髪の総合女性センターまで足を運んできて下さい。お待ちしております。

なお、『With』も内容充実をはかるため、皆さんの原稿をお待ちしております。

編集委員長 久島雅樹

6月のバック回収

5日健軍東小小学校	42.7Kg
6日サンリー菊陽寿屋	61.9Kg
ヤマギシズム	85.6Kg
12日植木町町会(岡部様)	125Kg
浜町小学校	164.7Kg
両国小学校	116.6Kg
託麻西小学校	33.8Kg
健軍小学校	34.5Kg
21日西原小学校	81.7Kg
労働金庫	169.9Kg
国際ソロプチミスト	8Kg
27日玉福町ふれあいの会	22.1Kg
ひかり保育園	25.8Kg
山ノ内小学校	61.4Kg
西合志東小学校	17.5Kg
ソロプチミストさくら	7.3Kg
黒髪婦人会	26.8Kg
帯山小学校	33.1Kg
合志小学校	63Kg
秋津小学校	50.3Kg

6月分のまとめ

くまもと生協	329Kg
GCくまもと共生社	4433.2Kg

